

開村100周年記念特集④

戦後改革・町制施行 昭和20年代

初めての選挙

昭和22年には地方自治法が施行され、和寒でも初めて住民による村長選挙・村議会議員選挙がおこなわれ、村長には、当時村会議員だった南雲源一郎氏が当選しました。



13代村長 南雲源一郎
初代町長
(昭和22. 4. 6~38. 4. 30)

この頃は戦後改革によって新学制の実施や農地改革など、課題が山積していましたが、昭和24年の役場新庁舎の建設をはじめ、永山農業高校和寒分校（和寒高校の前身）の開校や農協・商工会の設立など、現在まで続く数多くのまちづくりの基礎が築られました。また、広報誌が初めて発行されたのもこの頃です。

開基50周年・

開村35周年記念式典

昭和24年10月30日、和寒小学校を会場に、役場庁舎竣工、鉄道開通50周年記念と併せて挙行され、町内外から250人が出席しました。

式典では、公職や農業、土木、消防など様々な分野の功労表彰や、明治時代から和寒の地を開拓されてきた方々に感謝状が贈られました。



昭和24年頃の大通り商店街

町制施行

開村（大正4年）当時、7千人余だった人口は1万1千人を超え、農業のみならず、商工業も賑わいを見せてきたことから、村民の間で町制を望む声が高まり、昭和26年7月に村議会に請願書が提出されました。村議会でも満場一致で町制施行を決め、道に陳情書を提出し、現地調査を経て12月の道議会でも正式に決定されたのです。

開村から約37年経った昭和27年1月1日、村民待望の町制が施行され、「村」は「町」として新たな歩みを始めました。

町制施行直前の村勢(昭和26年12月)

▽戸数及び人口		
戸数	1,968戸	
人口	11,532人	
	(男5,782 女5,750)	
▽業種別戸数及び人口		
商業	169戸	875人
工業	67戸	284人
金融業	30戸	158人
運輸通信業	104戸	593人
サービス業	122戸	632人
公務自由業	21戸	133人
農業	1,396戸	8,517人
林業	12戸	58人
その他	47戸	282人
▽学校		
永山農高和寒分校 (定時制)		83人
和寒中学校	13クラス	613人
中和分校	2クラス	64人
西和分校	3クラス	122人
東和分校	2クラス	67人
和寒小学校	17クラス	750人
中和小学校	7クラス	299人
三和小学校	6クラス	244人
西和小学校	6クラス	244人
東和小学校	3クラス	123人
大成小学校	2クラス	76人
朝日小学校	1クラス	22人
塩狩小学校	1クラス	26人
福原小学校	2クラス	59人
東陵小学校は昭和27年4月1日開校		
	1クラス	36人
北原小学校は昭和30年4月1日開校		
	1クラス	37人

わっさむふるさと写真館スライドショーDVDを貸し出します

わっさむ開村100周年記念に際し、町民の皆さんから提供いただいた写真や、図書館で保管している昔懐かしいモノクロ写真を約15分間のDVDにしました。同窓会や仲間内で集まる機会にぜひご利用ください。なお、スクリーンやプロジェクター、DVDプレイヤーなどの機器は各自で用意ください。

■お問い合わせ：総務課まちづくり推進係 (TEL32-2421)